

'10.3

毎月1回20日発行 定価 1部60円
発行所 兵庫県商工会連合会
発行人 会長 木南岩男
神戸市中央区花隈町6の19
☎078(371)1261(代)〒650-0013
http://www.shokoren.or.jp/
編集人 岡田奈良夫
印刷所 大和出版印刷株式会社
会員の購読料は会費に含んでおります

第 631 号

兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry



▲ Mishimonoを手にする前田敏康社長（写真左・左から2番目）と河南知幸統括部長（写真左・左から1番目）
伝統的な畳表の織機（体験用）（写真右上）・色とりどりのヘリ（写真右下）

Contents

- 県連合会Letter 2～3頁
 - ・ 商工会会長会議
 - ・ 平成二十二年度地域経済活性化支援費補助事業に係る研修会
 - ・ ネットde 記帳推進セミナー
 - ・ 県青連 経営革新研修会
 - ・ 県女性連 第三回理事会
- 商工会Letter 3～5頁
 - ・ 「もちむぎグルメガイド」完成！（福崎町商工会）
 - ・ 室津牡蠣のご当地メニュー開発！（たつの市商工会）
 - ・ 五色から愛を、五色からエコを「エコキャップ運動」（五色町商工会）
 - ・ 浜坂ハマダイコンで特産品を開発！（浜坂町商工会）
- あなたのまちの元気な企業（吉川町） 5頁
- 地域力連携拠点事業 6頁
 - ・ 事業承継マッチング交流研究会

吉川町で四十年以上、畳製造業を営む株式会社 前田畳製作所（代表取締役・前田敏康氏）は、昨年七月に製造部門と営業部門の二つの会社を統合し、現社長が就任。円滑な事業承継に向けて、社員の意識改革や経営理念の共有化に取り組み、組織力を高めた。

自社商品は、無着色、減農薬、生産者表示にこだわった伝統的な国産畳、若年層にも人気のカラー畳、(助)全日本柔道連盟の公認商品である柔道畳等、顧客ニーズに合った畳のバリエーションを展開。伝統ある西宮神社や長田神社からも受注が入る。地域ではMishimono作成のイベントを実施し、マスコミにも多く取り上げられている。（関連記事 五頁）



商工会会長会議

県連合会は、一月二十二日、ホテル北野プラザ六甲荘において平成二十一年度商工会会長会議を開催した。

木南岩男会長の挨拶の後、研修Ⅰとして岡山県商工会連合会会長の西本和馬氏より、「私が実践した商工会改革への取組み」についてご講演をいただき、多くの会長から質問が出される盛況ぶりであった。

続いて、研修Ⅱでは県産業労働部経営商業課課長補佐の円増万司氏より、「平成二十二年度以降の地域経済活性化支援費補助金について」ご講演いただいた。



▲質問を受ける岡山県連会長の西本氏

中小企業はもとより地域から信頼され期待される商工会づくりを進めるため、「商工会職員の県連帰属化」が決議され、平成二十二年四月より実施することとなった。

平成二十一年度 地域経済活性化支援費 補助事業に係る研修会

県連合会は、一月十八日、県商工会館において合併商工会並びに合併予定商工会を対象に「平成二十一年度地域経済活性化支援費補助事業」をテーマとした研修会を開催した。合併した商工会運営に係る諸問題についての情報交換・運営の改善や問題解決を目的としている。

全国商工会連合会組織運営課長の榎本陽介氏が、商工会改革の具体的な方策として、組織機能の強化・職員の資質向上・財政基盤の強化等、商工会組織内の改革とともに、巡回訪問の強化、地域資源活用や農商工連携など会員、地域への貢献に向けた行動の重要性を講義した。また県産業労働部経営商業課課長補佐の円増万司氏より、市町合併の経過措置等について今後の補助金に関する基本的な考え方を聞き、情報交換を行った。



▲全国連組織運営課長の榎本氏の講義

ネットde記帳の推進に向けて ネットde記帳推進 セミナー

県連合会は、一月十四日、神戸市・神戸商工貿易センタービルでネットde記帳推進セミナーを開催し、県内の商工会職員四十名が参加した。

全国連組織運営部情報能力開発課の中川洋氏より「ネットde記帳システムの二十一年度改善点及び電子申告機能の操作について」、滋賀県商工会連合会経営支援課広域指導室の上田克也氏より「自計化推進の先進事例について」の話があった。実際

に成果の上がつている自計化推進事例など、記帳機械化の重要性について学ぶ良い機会となった。

また、県連合会組織支援課から自計化推進ポイントについての説明があり、全国連の「電子決算広告」サービス利用可能な説明と、「ネットde記帳」自計化推進について依頼を行った。



▲ネットde記帳の説明を聞く参加者たち

研修のご案内

タイトル	生産管理シリーズ① 現場改善の基本手法
日時	平成22年4月20日(火) ～4月22日(木) [3日間]
会場	中小企業大学校関西校
対象者	生産部門のリーダー・ 管理者
受講料	27,000円
定員	30名
詳細情報	http://kansai.co.jp/

お客さまを最優先に
ありがとうの気持ちを込めて

地域とともに発展する
但馬銀行

Together With You

—中小企業と共に50年—
商工会の共済事業として会員の福利厚生をお手伝いする

県共済

兵庫県火災共済協同組合
兵庫県共済協同組合

神戸市中央区中山手通7丁目28番33号(県立産業会館内)
☎ 078-361-8080(代) Fax 078-371-6757
ホームページ www.Ken-Kyosai.or.jp

「経営革新認証を目指して」

県青連 経営革新研修会

県青年部連合会（霞末浩二会長）は、一月二十七日、福岡町商工会館（福岡町）において、経営革新研修会を開催し、県下各地域の青年部員等一〇三名が参加した。

当日は、今年度の県青連重点事業である経営革新推進事業の一環として、(株)流通プランニング代表取締役・川上正人氏が「経営革新認証のメリットと取り組み方について」をテーマに講

演を行った。

また、佐賀県青連の(有)坂本自動車製作所の坂本武徳氏、(有)松永無線工業の松永太氏、川口金物店の川口徳隆氏による「経営革新計画に取組んだ経緯、効果について」事例発表が行われた。

その後、浜坂町商工会青年部の岡本雄一郎氏を加え、「経営革新認証は青年部員や青年部活動にどのような利点をもたらす



▲佐賀県青連からの事例発表

「平成二十二年事業等」

県女性連 第三回理事会

県女性部連合会（行 幸子会長）は、一月七日、県商工会館にて第三回理事会を開催した。

議案協議に先立ち、佐用町・坂本ひとみ副会長より、十一月、十二月に実施した女性部ポータルサイト実行委員会の内容報告があった（同氏は実行委員長）。また、理事会の提出議案は次のとおり。

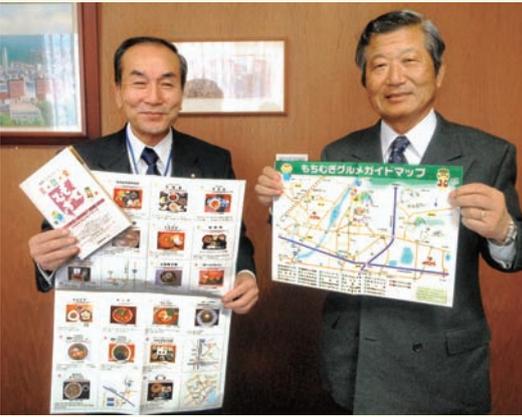
- ①全女性連からの台風九号災害に係る義援金について
- ②平成二十二年事業について
- ①では、全女性連・長崎県女性連より本会に送られた義援金の用途について検討し、佐用町・宍粟市・朝来町の女性部に対し、部員被害件数等に応じて配分することに決定した。
- ②では、商工会合併による二十二年会費収入減少への対策を検討。今年度事業の内容と経費について見直しを行い、次年度事業計画立案に反映していくこととなった。

たんたん連携いもの発掘支援相談会

日時 平成22年3月23日（火）13時～
場所 大阪駅前第3ビル19階
経営支援ブラザーUMEDA

「もちむぎグルメガイド」完成！

～ 福岡町商工会 ～



▶ガイドマップを手にする福岡町商工会
会長後藤氏（右）と同事務局長村上氏（左）

福岡町商工会（後藤雅一会長）では昨年度に取り組んだ「地域資源∞全国展開プロジェクト」を継続させるため、県連合会の地域活力増進事業を活用し、町特産の「もち麦」を使った料理やお菓子などのメニューづくりを町内飲食店に呼びかけ「もちむぎグルメガイド」を作成した。「もちむぎ麺」だけでなく「ラーメン」や「ケーキ」、「たい焼き」、「パン」、「クッキー」、「チヂミ」などバラエティーに富んだ30店舗のお店の料理を紹介している。

「もち麦」は大麦の一種で他の麺に使用される小麦に比べ高タンパク・高ミネラルで、βグルカンという食物繊維を多く含んでおり、健康食品としても注目を浴びている。「もちむぎグルメ」は、どれも健康的で「もち麦」の風味とモチモチした食感があり、とてもおいしく仕上がっている。今後は、若年層の方にも「もちむぎグルメガイド」を知ってもらうために携帯サイトを作成し、QRコードを付けたガイドを県内の主な観光施設などに置く予定である。

おわびと訂正

一月二十日に発行されました会報二月号（630号）P.4の記事の中で紹介させていただき、芦屋市商工会青年部長について、「内藤貴之部長」とするところが「岡田栄二郎」となっており、関係者の皆様には、大変ご迷惑をおかけしました。訂正いたしますとともに、謹んでお詫び申し上げます。

主な行事予定

- 3月のこよみ
 - 5日(火) 正副会長会
 - 9日(土) 県女性連理事会等
 - 11日(月) 県青連理事会等
 - 15日(木) 事業承継マッチング交流研究会
 - 16日(金) 地域力連携拠点事業研修会
 - 24～25日 臨時総会
- 4月のこよみ
 - 13日(土) 県女性連理事会等
 - 27日(土) 県女性連主張発表大会・幹部講習会等
 - 28日(日) 監事会

尼崎信用金庫
淡路信用金庫
神戸信用金庫
但馬信用金庫
但陽信用金庫
中兵庫信用金庫
西兵庫信用金庫
日新信用金庫
播州信用金庫
姫路信用金庫
兵庫信用金庫

「しんきんキャッシュカード」を利用すれば、全国にある信用金庫ATMでの入出金手数料が無料です。出先で、旅先でご利用下さい。（但し、土日・祝日・所定時間外等及び一部のATMは除きます）

室津牡蠣のご当地メニュー開発！

〜たつの市商工会〜

たつの市商工会（木南岩男会長）では、一月二十七日に同市商工会館において、「室津の牡蠣」と「たつの醤油」を活用した特産品「牡蠣しょうゆ」と「牡蠣コロッケ」の試作品を披露する会を開いた。

同市御津町に古くから栄える室津港で水揚げされる牡蠣は、身がふつくと大きく、熱を加

五色町商工会青年部（浜田大亮部長）では、平成二十年十月よりペットボトルのキャップを集めてNPO法人・エコキャップ推進協会（横浜市）の登録リサイクル業者へ送付し、売却益をワクチン寄贈団体へ寄付する「エコキャップ運動」に取り組んでいる。環境・資源・リサイクル問題の意識を高めるとともに命の大切さ、助け合いの心を広めるといった社会的意義の高い活動であるとして、青年部が中心となって活動している。

取り組んできた。

お披露目会では牡蠣のむき身入りのコロッケ二種と牡蠣エキスを試食。季節的商品である牡蠣のご当地メニューとしての新しい可能性を広くアピールした。

えても縮まりにくい。また、たつの淡口醤油づくりは安土桃山時代からの歴史があり、いずれも地域資源に認定されている。同商工会では県連合会の地域活力増進事業助成金を活用し、特産品開発委員会においてフードコーディネーターらが中心となり、牡蠣生産業者や醤油製造会社の協力を得て、特産品作りに

五色から愛を、五色からエコを「エコキャップ運動」

〜五色町商工会青年部〜

洲本市五色地域の教育機関、公共施設、会員事業所、一般家庭や町外からの協力もあり、過去四回のキャップ送付数は累計で約七百六十キロ、約三十万個となった。送付数をポリオワクチンに換算すると約三百八十人分、焼却時に発生するCO₂を約二千四百キロ抑制したことになる。今後も「五色から愛を、五色からエコを G-♥ECO（ジー・アイ・エコ）」をキャッチフレーズに、エコキャップ運動に取り組んでいく。

浜坂ハマダイコンで特産品を開発！

〜浜坂町商工会〜

浜坂町商工会（守山康博会長）は、平成二十一年度地域活力増進事業として、「浜坂ハマダイコン」による特産品等開発事業としており、この度、特産品等開発の一つとして「ハマダイコンおろしぼん酢」と「ハマダイコンおろしドレッシング」を開発した。この事業は本年度で三年目の取り組みとなり、ぼん酢の製造は二年目、ドレッシングの製造については、本年度初めて

取り組んだものである。原材料となる浜坂ハマダイコンは、浜坂町で有機肥料のみ用いて栽培したものを使用し、ぼん酢には「柚と伊予柑」、ドレッシングには「玉葱」をそれぞれ加えている。柚と伊予柑の風味と酸味が、浜坂ハマダイコンの旨みを引き出し、スツキリとした味わいとサツパリとした口あたりで、ほのかに甘みのあるぼん酢に仕上がっている。ドレッシングは、おろしのサツパリ感と玉葱の甘みにより、絶妙な味わいとなっている。商品ラベルには、イメージキャラクター

の「ハマちゃん」をあしらいつつ、明るくPOPな感じとなっている。

同会では、浜坂ハマダイコンによる特産品開発事業により、その花を活用した景観形成等の地域振興事業にも積極的に取り組んでいる。来年度以降も引き続き同事業を行うことで、地域活性化のための活力に繋げたいとしている。

五色から愛を、五色からエコを
ジー アイ エコ
G-♥ECO



▲「エコキャップ運動」に取り組む青年部員

取り組んだものである。原材料となる浜坂ハマダイコンは、浜坂町で有機肥料のみ用いて栽培したものを使用し、ぼん酢には「柚と伊予柑」、ドレッシングには「玉葱」をそれぞれ加えている。柚と伊予柑の風味と酸味が、浜坂ハマダイコンの旨みを引き出し、スツキリとした味わいとサツパリとした口あたりで、ほのかに甘みのあるぼん酢に仕上がっている。ドレッシングは、おろしのサツパリ感と玉葱の甘みにより、絶妙な味わいとなっている。商品ラベルには、イメージキャラクター



▲「ハマダイコンおろしぼん酢」(左)
「ハマダイコンドレッシング」(右)



▲浜坂町のイメージキャラクター「ハマちゃん」

あなたのまちの元気な企業 ⑮

株式会社 前田畳製作所

〜三木市吉川町〜

円滑な事業承継と労務改善の取組

同社は親族が手掛けていた製畳業を、前田敏康社長の父が継承し、昭和四十四年に法人化。

同社長は銀行を退職して入社し、平成八年に神戸で自社製造の畳の営業を行う会社を設立した。昨年七月に二つの会社を統合し、社名を「前田製畳株式会社」から「株式会社 前田畳製作所」に変更した。



▲「職場のルールブック」を手にする前田社長

て全社員に配布した。また「何のために働くのか」を考える機会を常に持っている。社員は年代層が広く、従来は個々の職人氣質が、組織としてマイナスに作用する面があったが、今では若手社員の意見をどんどん聞き出し、教え合うようになっていく。製造と営業の溝を埋めるために、定期的な現場会議や、朝礼ならぬ「昼礼会」を月二〜三回行い、休日にも社員と交流を深めている。会社の統合により「組織力が高まった」と実感している。

畳を通して伝えたいこと

経営理念は「日本文化の維持と発展に貢献する」である。

畳の材料であるイグサの約九割が海外産で、そのほとんどが着色料を使用しているという現状を知らない人が多い。できるだけ日本の材料を使い、日本の伝統文化とイグサ農家を守っていききたい。イグサは国内の九五％を熊本県で生産し、その中の九十％が八代産であるイグサは冬に植え付けし、暑い夏に刈



▲伝統的な畳の手ぬい作業

り取るの、苛酷な農作業でもある。しかし、イグサ農家に畳を使用している顧客の声は届きにくい。畳の納品現場を記録に残し、農家に自分の育てたイグサが畳になっていく写真を見てもらうと「やりがいがあるし、元気が出る」と言ってもらえる。

製造現場では、高品質のものがなぜ理解してもらえないのか、売れないのかと葛藤している。多くの場合、畳は一種類しかないと思っている人が多いので、顧客に畳のことをもっと知ってもらい、自社商品を提案していききたいと思っている。以前は畳を作って売っただけで商売が成り立っていたが、現在は業界全体の状況が刻々と変化している。顧客ニーズに柔軟に対応して、新しいことにも挑戦していききたいと思っている。

自社のこだわり、イチオシ商品

「和らぎや」というブランド

を作り、こだわりの畳(国産、無着色、減農薬、生産者表示)を販売している。特定生産者のイグサを材料に、職人が手縫いで仕上げた特注畳も扱っている。

若年層に人気があるカラー畳は紙、樹脂のものを作っており、水拭きできるので飲食店にも最適である。デザインナース住宅にも活用され、おしゃれな和空間作りを演出している。

積極的に取り組んでいること

柔道畳では(財)全日本柔道連盟公認用具指定業者、公認商品となっている。全国で十一社公認と希少で、その中でも自社工場が生産している会社は少ない。

地域のイベントに積極的に参加し、ミニ畳の作成プログラムを実施している。一週間で千人ほどの参加者があり、こだわりの畳に触れてもらい、顧客が何を求めているか、自分たちの目と耳で確かめている。熊本からイグサ生産者たちも応援に駆け付け、畳についての説明も行っている。

自社HPではイグサの成長日記や畳の納品の様子をタイムリーに見られるようにしており、魅力あるHPで商品を宣伝していききたい。

地域、商工会に対する想い

吉川町の特性、自慢はずっと残っていてほしい。吉川町に帰ってくることで、気持ちにゆとりが生まれるような地であってほしい。

商工会には日頃から労務や税務指導でお世話になり、県連合会の専門家派遣でも支援を受けている。特に事業承継での指導の成果は大きい。商工会の支援策はどんどん利用しないと損である。企業の情報も蓄積されている。親身になって相談に乗ってくれる。サポートが手厚く非常にありがたい。これからも積極的に地域に貢献していきたいと考えている。

企業概要	株式会社 前田畳製作所
①企業名	株式会社 前田 敏康
②代表者	(本社) 神戸市兵庫区永沢町3-8-8
③住所	(工場) 三木市吉川町実染458
④電話	(本社) 078-578-0172
	(工場) 0794-73-0390
⑤URL	http://www.maeda-tatami.com/
⑥資本金	1,000万円
⑦創業年	昭和45年(1970年)
⑧従業員	25名
⑨商工会員歴	40年

※前田畳製作所
ミニ畳作成イベントを開催します!
場所* DUO Gallery ぎやらり-2
(神戸駅地下街)
日時* 4月1日(木)~6日(火)
11:00~19:00

地域力連携拠点事業

後継者が見つからない事業者および新事業・新分野に創建・事実展開を考えている事業者等に対し、経営資源を有効活用するための交流研究会です。

後継ぎ探し、事業拡大・創業を目指している方へ

事業承継マッチング交流研究会

参加対象 ① 有効な経営資源（人材、技術、ノウハウ等）を保有している方
② 創業に向けて取り組んでいる方
③ 新事業、新分野への進出、経営革新・第二創業を考えている方 等

参加費 **無 料**

日 時 平成22年 3月 16日（火） 13時00分～17時50分（受付12時30分～）

場 所 シーサイドホテル舞子ピラ神戸 3F「舞子」
神戸市垂水区東舞子町18-11 tel. 078-706-3711(代表)

定 員 100名（先着順） 締切3月9日（火）

時 間	テ ー マ ・ 内 容	講 師 等
13:00～13:05	開会あいさつ	兵庫県商工会連合会
13:05～14:35	基 調 講 演 ～事業継続に向けて～ 「中小企業が地域社会に承継するもの」	富士市産業支援センターf-Biz センター長 兼プロジェクトマネージャー 小出 宗昭 氏
14:45～16:30	パネルディスカッション ～人と人とのつながりを通して～ 「地域社会に貢献する企業づくり」	金融機関・弁護士・大学教授等
16:40～17:50	交流会（名刺交換会）	参加自由

※交流会（名刺交換会）参加の場合のみ、参加費3,000円が必要です。会費は当日会場で申し受けます。

兵庫県商工会連合会（事業承継支援センター）

お申込み・
お問合せ先

直通：078-371-1362 FAX：078-341-4452

Eメール：hyogo-keieishienka@shokoren.or.jp

事業部・経営支援課



私たちは、兵庫県の皆さまとともに歩いていく、
地域金融機関です。



ご融資の相談は
お気軽に「けんしん」へ

■詳しくは窓口へおたずね下さい。



いまでも、これからも、いつまでも
兵庫県信用組合

〒650-0023 神戸市中央区栄町通3-4-17
TEL 078-391-6315
<http://www.hyogokenshin.co.jp/>



最高の信頼を
めざして。

三井住友銀行